

GI ワインシンポジウム 2020

🍷 GI 山梨 GI北海道 🍷

山梨に続き、北海道も

地域ブランドを守るために設けられた「GI制度」。2013年、ワイン産地として日本で初めて山梨県が国税庁長官から地理的表示「山梨」(GI Yamanashi)の指定を受けています。そして2018年、山梨に次いで北海道がワイン産地として地理的表示「北海道」(GI Hokkaido)の指定を受けました。

シンポジウムでは、GI制度およびGIワインを知っていただくために、今回も各界から専門家をお招きして、GIワインの魅力を語っていただきます。そして厳しい基準をクリアした各ワイナリーのGIワインを実際にテイスティングいただき、それぞれの魅力を味わってみてください。 ※GI:Geographical Indication

2020 3.20 (金・祝)

13:30～16:40 (終了予定) 受付時間 13:00～

* プログラム *

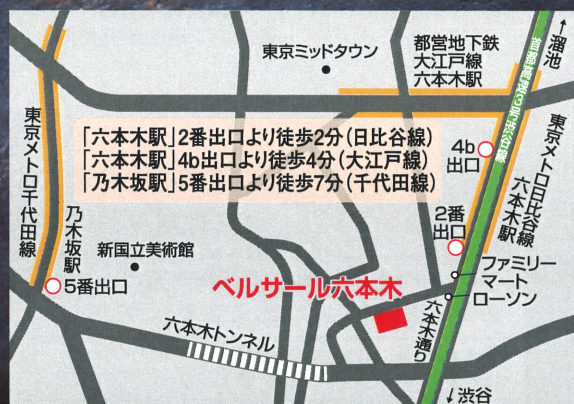
原田 喜美枝氏による基調講演
GIワインを語るパネルディスカッション
GIワインテイスティング

参加無料

* 会場 *

ベルサール六本木

東京都港区六本木7-18-18
住友不動産六本木通ビル1F・B1F



主催 東京国税局 札幌国税局

協力 独立行政法人酒類総合研究所 山梨県 北海道 山梨県ワイン酒造組合 道産ワイン懇談会

基調講演



原田 喜美枝 中央大学商学部教授

JSA (日本ソムリエ協会) ワインエキスパート。

東京大学大学院経済学研究科卒業、博士(経済学)。金融庁金融審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、財務省財政投融資分科会委員。2017・18年度オーストラリア国立大学客員フェロー。専門は金融論、ワインエコノミクス。American Association of Wine Economics、日本ブドウ・ワイン学会 会員。

近著に『日本のワイン WINES of JAPAN』(バイリンガル書籍、共著、2017年、イカロス出版。2018年にOIV賞受賞)、「How much wine is really produced and consumed in China, Hong Kong and Japan?」*Journal of Wine Economics*, Vol 13(2) (共著、2018年)などワインに関する論文多数。

パネルディスカッション

モデレーター



後藤 奈美
独立行政法人
酒類総合研究所 理事長



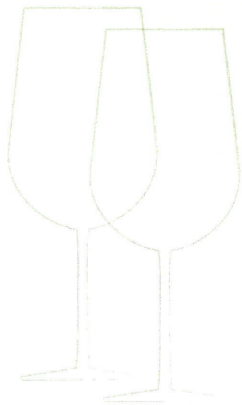
阿部 眞久
NPO法人ワインクラスター北海道
代表理事
シニアソムリエ



押切 もえ
モデル
ワインエキスパート



五味 丈美
株式会社サヴール五味
ビストロ・ミル・ブランタン・オーナー
シニアソムリエ



畠村 公宏
北海道ワイン株式会社
代表取締役社長
道産ワイン懇談会 副会長



庄内 文雄
サントリーワインインターナショナル株式会社
登美の丘ワイナリー 所長
山梨県ワイン酒造組合 副会長



原田 喜美枝
中央大学商学部
教授

応募要項

GIワインシンポジウム2020に参加を希望される方は、専用応募フォームによりご応募ください。
抽選で300名様をご招待いたします。

応募方法	QRコードもしくはURLより専用応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上、ご応募ください。	QRコードから アクセス  https://gi-wine2020.jp/
応募締切	3月3日(火) 締切	
お問い合わせ先	GIワインシンポジウム2020参加募集事務局 EMAIL info.gi-wine@mcp.co.jp ※ご応募者の個人情報は、抽選作業、参加証の返信、事務局からの連絡及び当日受付のみ使用致します。 ※ご応募及びご参加は満20歳以上の方に限らせていただきます。 ※お車でのご来場は禁止と致します。 ※当日の写真は、広告物等に掲載される場合がございます。予めご了承ください。 ※予告なく内容を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。	